

令和7年度第1回 国道(国管理)の維持管理等に関する検討会

議 事 概 要

1. 日 時

令和8年3月23日(月) 10:30~12:00

2. 出席者

那須清吾座長、関本義秀委員、全邦釘委員、堤盛人委員、山口栄輝委員

3. 議 題

- (1) 検討会の経緯・目的
- (2) 道路の維持管理をとりまく最近の動向
- (3) 国道(国管理)の維持管理基準に基づく管理状況と課題(フォローアップ)
- (4) 今後の進め方について

4. 議事概要

(議題(1)~(4))について事務局より説明を行い、委員より下記のとおりご意見を頂いた。

- ・ LINE を通じた道路利用者からの通報など、デジタルによる維持管理の効率化を進めていかなければいけない。
- ・ 老朽化対策は進められているが、特にⅡ判定の橋梁は悪くならないように予防保全を進めていく必要がある。
- ・ 剪定は、視認性のみの作業基準となっているが、樹木が腐って倒木する事故が起こっているため、例えば、AI などを活用して木の健全度を確認することも必要。
- ・ 維持管理の実施状況のフォローアップは、これまでよりも密に行い議論していく必要がある。
- ・ 意見・要望件数の低減のアウトカムでは、現場のがんばりが評価できていないため、定量的に見える仕組みとなるようにアウトカムを見直す議論が必要。
- ・ ICT・AI の活用が一定程度進んでいるが、デジタルが役に立ったのかが分からないため、デジタルの活用効果を深掘りしていく必要がある。
- ・ 国が行っているデジタルの取組を自治体管理道路に波及させていく議論が必要ではないか。
- ・ 道路排水施設の点検は、人手のみの対応は困難であり新技術の活用

が必要。

- ・ 道路陥没の現象を整理したうえで、道路排水施設の深さや危険度の大小、目で見えるかなどを考慮して損傷把握方法の検討が必要。